

『平成 29 年度日本東洋医学会九州支部大分県部会学術講演会』のご案内

会期：平成 29 年 6 月 11 日（日）10:00～15:30

会場：大分市 コンパルホール 4F 視聴覚室 TEL097-538-3700

会費：3 千円

●開会の辞：県部会副会長：挟間 直己 10:00～10:05

●一般演題： 10:05～12:00

I 座長：山下 太郎

1) 緩和医療における諸症状に漢方治療の有効性を認めた 1 例

酒井病院 阿南 栄一郎

2) 不眠症に対して抑肝散が効果的であった一例

大分大学医学部附属病院 精神神経科 井上 綾子

3) 発達障害の症例で経験した麻杏薏甘湯の向精神作用

垣迫内科医院 垣迫 真一

4) 抗精神病薬の長期投与による遅発性ジストニアに鍼灸・漢方治療が奏功した 1 例

真央クリニック附属鍼灸室／長湯鍼灸院 成田 響太

II 座長：阿南 栄一郎

5) 升麻葛根湯の生きる道

くわたに内科 栗谷 圭二

6) 最近の興味深い症例

織部内科クリニック 織部 和宏

7) GERD、FD に対する安中散または半夏瀉心湯投与の試み

井野辺病院 消化器内科 那須 眞示

8) 大分大学医学部附属病院における漢方薬の使用実態調査

大分大学医学部附属病院 薬剤部 森永 裕子

●大分県部会総会 12:50～13:00

●教育講演 座長：挟間 直己
「腹診を考える」 13:00～14:00
大分大学医学部 産科婦人科 西田 欣広

●特別講演 座長：織部 和宏
「現代医学からみた傷寒論」 14:05～15:25
いぐちクリニック 院長 井口 敬一

●閉会の辞：県部会副会長：阿南 栄一郎 15:25～15:30

共催：日本東洋医学会九州支部大分県部会・大分県薬剤師会・大分県病院薬剤師会